

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

夕張市教育委員会

《ゆうばり小学校》 調査対象学年は、第5学年児童

男子14人・女子22人が参加して、6月から7月の期間で実施いたしました。

■体格

身長と体重の平均は、男子は全国と全道の平均とほぼ同じであるが、女子は身長・体重とも全国・全道を上回り。女子の体格は、体重差が大きく肥満傾向にあります。

実技は8種目の調査です。

■実技

全国と全道の平均を上回った種目は男子が長座体前屈の1種目、女子は握力・長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げの4種目である。

男女ともに中・下位が多い分布である。

児童質問紙は26項目の質問がありました。

■児童質問紙

- ・「運動やスポーツをすることは好き」「運動やスポーツは大切」と回答した児童の割合は女子が若干下回るが、男子は全国・全道を上回る一方で、体育の授業以外における1週間の運動総時間は男子より女子が多く、全国・全道を上回る結果である。
- ・「体育の授業を楽しみ、たくさん体を動かしている」と回答している割合が多く、「体育の授業内容は、将来役に立つ」と回答している児童が多い。
- ・五輪、パラ五輪の日本開催に対する質問では、「競技種目を自分も行ってみたい」に女子が全国・全道を上回り、男子は「運動に関心が高まってきた」が大きく上回っている。
- ・朝食は「毎日食べる」回答が男子は全国・全道を上回り、女子は下回る。睡眠時間は男女とも8時間以上9時間未満の回答が多い。
- ・「困難なことへの挑戦意欲」や「自己肯定感」は男子が全国・全道を上回っているが女子は下回る。

次に中学校の結果報告です。

《夕張中学校》調査対象学年は 第2学年年 男子14人・女子14人の調査でした。

体育の時間に体育の先生が指導し実技調査を行っています。

初めに体格です。

■体格

身長・体重は男子が全国・全道の平均を上回り、女子は身長がほぼ同じで体重が全道・全国を上回る。

男子に中度肥満傾向があり、女子は中度・高度肥満傾向がみられる。

次に実技集計です。実技は小学校と同様の8種目です。

■実技

男子は反復横よび・シャトルラン以外の6種目は全国・全道を上回り、女子は男子の2種目に状態起こしを加えた以外の5種目が全国・全道を上回った。

男女とも持久力・敏捷性が課題である。

生徒質問紙も小学校と同様26項目です。

■生徒質問紙

- ・「運動やスポーツをすることは好き」の回答が全国・全道を概ね上回っており、「運動やスポーツは大切」と回答した男子は全国・全道を上回り、女子は若干下回る。

1週間の運動総時間は、男女とも全国・全道を若干下回るが、大きな差ではない。

- ・体育の授業ではタブレットの活用が全国・全道を上回っている。

- ・五輪、パラ五輪の日本開催についての質問には、男子が「運動に関心が高まってきた、競技種目を行ってみたい」の回答割合が高いのに対して女子は「内容や歴史を知りたい」回答割合が高い。回答項目で一番多いのは「試合を見に行ってみたい」であった。

- ・「朝食は毎日食べる」回答は男子が全国・全道を上回っている。睡眠は男女とも7時間以上8時間未満が多く、全国・全道を上回っている。

- ・「困難なことへの挑戦意欲」は女子に高く、「自己肯定感」は男子が高い。

以上、令和元年度の夕張市の体力・運動能力・運動習慣等の調査結果です。

中学校は、昨年と同じく体力・運動能力の向上が図られており、体育の授業や運動部活動の取組、本検査に向けた意欲づけや調査実施時期などの対策から改善が継続されています。

小学校も全国・全道の平均を超えた種目があり、令和2年度に向け体力テストの全校的实施や個人目標の設定などの取り組みを行い体力・運動能力の向上を図ります。